

学校教育目標

あかるく
かしこく
たくましく

学校だより

<http://omiya-e.saitama-city.ed.jp/>
omiya-e@saitama-city.ed.jp

No. 475

令和3年7月20日
さいたま市立大宮小学校
TEL 641-7051

「関わり合い、学び合う」

教頭 田中 浩二

1人1台端末を活用し、令和の新しい学びの実現に向けてスタートを切った令和3年度。今学期実施した学校公開や授業参観等でも、タブレットパソコンを使用した学習場面をご覧いただいたかと思います。4月当初は、ログインすることもままならなかった児童も少しずつ慣れ、楽しみながら学ぶ姿が見られるようになりました。今は、児童も教員も互いに学び合い、関わり合いながら活用法を模索しているところです。まだまだ課題も多く見られますが、まずは失敗を恐れずチャレンジしていくことが大切だと考えております。

先日、校舎内を歩いていると、タブレットパソコンのカメラ機能を使い、様々な場所を撮影している5年生を見かけました。これまでも、生活科でアサガオや野菜を撮影し、大きく成長していく様子を喜ぶ児童。図画工作で「わたしのお気に入りの場所」を撮影し、絵を描く児童。体育で互いの技を動画で撮影し合い、学びを深める児童など、様々な児童が様々な場所でタブレットパソコンを使用している場面に出会いました。今度は、どのような学習なのか、ワクワクして尋ねてみると、国語の学習で、「みんなに教えよう、ここが大宮小のじまんです」の資料を集めているとのこと。この写真をもとに、自分の考えを発表するようです。

さて、5年生が考えた「大宮小のじまん」は何だと思いませんか。

「あおぎりスマイルまつり」「きらめきメール」「おはよう活動」「硬筆」などの取組を見つけた児童もいれば、「図書館」「学年園」「岩石園」「築山」「体育館」「小さな美術館」「歴史博物館」など場所を見つけた児童もいました。また、「あおぎりの木」「しだれ桜」「大王松」などの自然もありました。他にも「校長先生」「校歌」「うさぎ」「新方須賀さいたま線に近い」「整理・整とん」など多種多様な自分なりの「じまん」を見つけました。そして、その「じまん」を、相手に伝わるように発表していたようです。ちなみに、私が見つけた「大宮小のじまん」は「人」です。5年生の中にも「児童」「仲がいい」を挙げる児童がいました。選んだものが同じでも、理由は人それぞれ。違った考えに触れるからこそ、気付くことがあります。学び合うことができます。大宮小には680名の児童がいます。誰一人として同じ児童はいません。様々な関わり合いの中で、子どもたちは成長していきます。自分と違う考えに触れたとき、子どもたちが何を学び合うのか。そんな子どもたちの学び合いを支え、大切にしていきたいと思っております。

いよいよ夏休みが始まります。まとまった休みだからこそ、子どもたちには、様々なものや考えに触れ、やりたいことにチャレンジして、楽しく充実した夏休みを過ごしてもらいたいと思っております。今しかできないこと、今だからこそできることに挑戦し、子どもたちの力がさらに伸びるよう、ご家庭でも一人ひとりに合わせた支援をしていただければと大変ありがたく思います。

2学期、たくましく成長した子どもたちの笑顔に会えることを心から楽しみにしています。

運動会について

本年度の運動会について、その実施形態を含め、検討しております。今後のコロナウイルスの感染状況にもよりますが、現時点では、予定通り9月25日（土）に、時間を短縮し、午前中に実施する方向です。従来、運動会の日にお弁当の準備をお願いしておりましたが、本年度は必要ありません。

運動会の実施方法等詳細は、2学期に入ってからお知らせいたします。